

Q 就学援助の支給時期について、例えば修学旅行費は、旅行が終わってから支給されるので、実際にお金が必要なた時に間に合わない。仮認定制度などで支給時期の改善をすべきではないか。

A 教育部長 入学準備金などの早期支給に関して、中学校1年生については小学校6年生の3学期に支給し、新入学準備金としての対応ができる。その他についてもいろいろ会計上検討しなければならぬ部分もありますが、例規等の改正をすれば、早期支給も可能だと思います。

Q 「ケースワーカーとは」
地域で福祉サービスが必要としている人の相談に乗り、生活保護を必要とする人への適用手続き等を行うのを主な仕事とする職員。

個人質問



小川 良一 議員

● 子育て支援について

Q 市長の子育て支援の基本的な考え方はどうか。

A 市長 子育ての環境を整えながら、FM（ファシリティマネジメント）の面から資産の適切な管理をしていくという基本的な方針のもとに、経費の節約をしながら、子育ての支援をします。

Q 地域の子育て支援はどうか。

A 保健福祉部長 PRセンターの案内やパンフレット、毎月発行している子育て支援センターだよりをこども園や担当課窓口に配置し、また、ホームページに掲載し、周知を図っています。

Q まつおこども園に3歳の短児部がない

のはどうしてなのか。

A 保健福祉部長 既存の施設を使うため、面積が足りない状況であり、長児部との調整が必要となります。現状では、スペースが足りないという状況です。

Q まつおこども園は何年に建設され、耐震面はどうか。

A 保健福祉部長 昭和53年に鉄筋コンクリート造りの2階建てとして建築されました。建築年は新耐震基準の制定前ですが、耐震診断の結果、安全は確保されています。

Q まつおこども園の将来に向けてのビジョンはどうか。

A 保健福祉部長 合併特例債を使い、新しい場所に移転して造っていくというような、整理統合の考え方をしっかりと根底に置かなければなりません。これから先、こども園をしっかりとしたこども園にしていくためには、まつおこども園も何らかの手当てをしなければいけないと考えています。

元気な園児たち



A 保健福祉部長 合併特例債を使い、新しい場所に移転して造っていくというような、整理統合の考え方をしっかりと根底に置かなければなりません。これから先、こども園をしっかりとしたこども園にしていくためには、まつおこども園も何らかの手当てをしなければいけないと考えています。

Q 成田空港関係について
成田空港におけるトランジット客数はどうか。

A 市長 平成24年度の成田空港における年間旅客数は、約3千343万人です。この内、約18%、577万人がトランジット客の総数で、約半分に当たる289万人が実数です。

Q 市はトランジット客をターゲットにした施策を行っているのか。

A 市長 トランジットのお客様が15万人いると仮定しても、トラン

ジットのお客様は、空港で降りられて、ちょっと疲れています。待ち時間もまちまちですし、実現可能な施策をどうしたら市としてやっていけるのか、なかなかアイデアが出てこないと思っています。

市長の反問

市の地域経済に資するような、空港における施策にはどういふものがあると思いますか。

小川議員の答弁

市では、千葉駅構内で駅ナカを実施し、特産物のPRにつながっていると理解している。そのノウハウを生かして、空港の中に「空ナカ」を開設し、郷土芸能などをお客様に見せる場所を提供してもらい、市の特産物を販売したり、外国からのお客様に日本の郷土芸能等々を披露して、市をどんどんPRしていくのも、1つの手段と考える。